



真庭市議会だより

第41号

平成27年
8月1日発行

まにわ

落合中学校 新校舎

平成27年4月に新改築落成記念式典が行われ、新校舎での生活がスタートしました。

新しい中学校は、校舎や技術棟、体育館に真庭産のスギやヒノキをふんだんに使用しています。



主な記事

6月定例会	P2～4
各常任委員会報告	P5～7
一般質問	P8～14
議会の動き	P15
会派の状況	P16

平成27年6月第4回真庭市議会

6

月定例会

(会期5月29日から6月16日まで)

平成27年度 6月補正予算額

4,566万4千円 を可決しました

	6月補正額	補正後予算額	対前年比
一般会計	4,674万8千円	291億9,274万8千円	8.2%減
特別会計	▲746万3千円	168億5,429万7千円	4.5%増
公営企業会計	637万9千円	34億9,505万8千円	6.7%増

補正後総予算額 495億4,210万3千円
対前年比 16億5,555万4千円 (3.2%) 減

【今回の主な内容】

- ・国県等の補助に係る事業採択等によるもの、特に緊急を要する事務事業、人事異動等に伴う人件費及び機構改革による所管替え等についての補正予算を可決。

◆報告5件

報告第4号 平成26年度真庭市一般会計予算繰越明許費繰越計算書について

報告第5号 平成26年度真庭市簡易水道事業特別会計予算繰越明許費繰越計算書について

報告第6号 平成26年度真庭市公共下水道事業特別会計予算繰越明許費繰越計算書について

報告第7号 平成26年度真庭市津黒高原観光事業特別会計予算繰越明許費繰越計算書について

報告第8号 専決処分の報告について
車両物損事故による損害賠償についての報告です。

◆諮問1件

諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦について

植田悦子氏、中島善子氏及び瀬島ミチル氏を人権擁護委員候補者に推薦しました。

◆議案23件(全て原案可決)

※(一)内は付託委員会名
(総務)総務常任委員会
(文教)文教厚生常任委員会
(産建)産業建設常任委員会

議案第66号 工事請負契約の締結について

天津・川東こども園(仮称)建築主体工事について、梶岡建設株式会社・株式会社酒井工務店・株式会社タブチ特定建設工事共同企業体と4億2,336万円で工事請負契約を締結するものです。

議案第67号 財産の無償譲渡について
(総務)

不要となった消防機庫を土地所有者に無償で譲渡するものです。

議案第68号 真庭市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について
(総務)

国の制度改正を踏まえて、地域おこし協力隊の報酬を月額16万6千円から20万円に改定するものです。

議案第69号 岡山市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の増加及び岡山市町村総合事務組合規約の変更に関する協議について

(総務)

津山圏域資源循環施設組合を岡山市町村総合事務組合に加入させること等に関し、地方自治法の規定により関係地方公共団体と協議するものです。

議案第70号 土地の処分に

(総務)

真庭市が蒜山上福田に所有する土地8,761.59㎡を2,128万5,120円でひるぜんワイン有限公司に譲渡するものです。

議案第71号 不動産の買入れについて

(文教)

コミュニティバス用車両(59人定員中型バス)2台を有限会社加藤モータースから、4,080万2,400円で買い入れるものです。

議案第72号 真庭市福祉事務所設置条例及び真庭市ひとり親家庭等医療費給付条例の一部改正について(文教)

母子及び寡婦福祉法の一部改正に伴い、引用する法律名の変更等をするため、条例の改正を行うものです。

議案第73号 真庭市湯原保健福祉センター条例の一部改正について

(文教)

国が定める負担限度額の改定に伴う同センターの利用料金の改定等を行うものです。



湯原保健福祉センター

(議案に賛成した議員)
※議席番号順

福島一則 福井莊助
中尾哲雄 原 秀樹
古南源二 氏平篤正
築澤敏夫 緒形 尚
入澤廣成 中元唯資
池田文治 小田康文
初本 勝 河部辰夫
長尾 修 宮田精一
草地秀育 妹尾 昇
森田一文 岩本壯八
妹尾智之

(議案に賛成しなかった議員)

岡崎陽輔 柿本健治

この審議では討論がありました。内容は次のとおり。

【討論あり】

【反対】岡崎陽輔 議員

本議案は、昨年6月に成立した医療・介護総合法に基づき国の介護保険法改悪による給付抑制と負担増の具

体化であり、真庭市の裁量は限定的だが、市民の願う安心の介護に完全に逆行するものである。反対理由として、第1に、特別養護老人ホームの多床室の部屋代徴収は第4段階で月額1万5,600円、短期入所生活介護事業所従来型個室で月額2万1,000円の利用料金の負担増となる。要介護者、家族の耐えがたい負担増になる可能性がある。第2に、介護保険法改悪は全ての介護事業者の介護報酬の引き下げによる経営圧迫、高齢者の利用者負担2割化など、施設サービスから在宅サービス、自助、互助への追い出しの流れを加速させるものであり、老人漂流社会を加速させるものである。第3に、消費税増税

の一方で、容赦ない社会保障費の削減を進める国の言いなりではなく、国に対して公費負担増を求めるとともに、自治体が軽減措置、救済措置の拡充で地域の高齢者の暮らしを守るべきである。

【賛成】妹尾 昇 議員

本改正は、国が制度改正したものであるが、真庭市の場合低料金で入所していたというところで、民間事業者と真庭市の場合に格差があると、同じ市民の利用者で格差があるのは不公平ということで、早急に上げるべきである。

議案第74号 真庭市農業共済条例の一部改正について

(産建)

家畜共済損害認定準則の一部改正に伴い、条例の改正を行うものです。

議案第75号 真庭市営住宅管理条例の一部改正について

(産建)

市営北町住宅、多田西住宅、鍋屋中1住宅及び橋本住宅について、老朽化した住宅の一部を取り壊し、用途廃止するものです。

議案第76号 字の区域の変更について
(産建)

真庭市内の土地174筆について、字の区域を変更するものです。

議案第77号 真庭市学校設置条例の一部改正について
(文教)

学校の統合により、阿口小学校及び阿口幼稚園の学校としての用途を廃止するものです。

議案第78号 真庭市国民健康保険湯原温泉病院事業の設置等に関する条例及び真庭市国民健康保険湯原温泉病院事業使用料及び手数料条例の一部改正について
(文教)

湯原温泉病院において、新たに重症心身障害児・者の短期入所事業を実施するものです。

議案第79号 平成27年度真庭市一般会計補正予算(第1号)について

歳入歳出それぞれ4,674万8千円を増額し、歳入歳出総額291億9,274万8千円を計上しています。

議案第80号 平成27年度真庭市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について

歳入歳出それぞれ34万円を減額し、歳入歳出総額63億6,445万8千円を計上しています。

議案第81号 平成27年度真庭市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について

歳入歳出それぞれ30万円を増額し、歳入歳出総額6億9,315万6千円を計上しています。

議案第82号 平成27年度真庭市介護保険特別会計補正予算(第1号)について

歳入歳出それぞれ314万円を減額し、歳入歳出総額58億3,874万1千円を計上しています。

議案第83号 平成27年度真庭市介護保険特別会計(介護サービス事業勘定補正予算(第1号)について

歳入歳出それぞれ208万3千円を減額し、歳入歳出総額5,521万6千円を計上しています。



本会議の様子

議案第84号 平成27年度真庭市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)について

歳入歳出それぞれ193万円を減額し、歳入歳出総額9億9,553万6千円を計上しています。

議案第85号 平成27年度真庭市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)について

歳入歳出それぞれ90万円を減額し、歳入歳出総額6億

4,670万3千円を計上しています。

議案第86号 平成27年度真庭市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)について

歳入歳出それぞれ63万円を増額し、歳入歳出総額19億9,541万6千円を計上しています。

議案第87号 平成27年度真庭市農業共済事業特別会計補正予算(第1号)について

歳入歳出それぞれ666万1千円を増額し、歳入歳出総額2億8,394万円を計上しています。

議案第88号 平成27年度真庭市水道事業会計補正予算(第1号)について

歳入歳出それぞれ28万2千円を減額し、歳入歳出総額13億5,937万9千円を計上しています。

◆議員発議

発議第2号 働き過ぎの防止と良質な雇用の確立を求める意見書の提出について

陳情第4号に対するものです。
原案可決

◆請願・陳情

陳情第2号 要望書：農道正富4号道路の市道認定について
(産建) 採択

陳情第3号 住民のいのちと暮らしを守る公務・公共サービス拡充にむけた要請書
(総務) 趣旨採択

陳情第4号 「働き過ぎの防止と良質な雇用の確立を求める意見書」の採択を求める陳情
(産建) 採択

陳情第5号 要望書：位置指定道路の市道認定について
(産建) 採択

継続審査1件

陳情第1号 合併特例債の適用期間の再延長を求めることについて(お願い)
(総務)

総務常任委員会

委員会開催内容

本委員会では、5月13日に委員会を開催し、各担当部局の出席を求め、調査研究を行いましたので報告します。

《総合政策部》

■「まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定について

地域に仕事を生み出し、地域にあった産業を創出し、地域への人の流れをつくるため、人口減少対策として取り組んでいく。

「雇用創出」、「交流・定住」、「子育て・教育」、「都市づくり」の4つの部会に分かれ、6月から市民会議を開催し、オール真庭で取り組みながら、平成27年度から平成31年度までの5か年間の具体的な施策を9月には取りまとめたという説明がありました。

針について

■「真庭市広聴広報基本方針」について
市民理解と参加を得ながら市政を運営するため、市民の意見やニーズを的確に把握し、市政へ反映することの重要性を認識している。基本的な施策として、市民と行政の情報共有を図るため、ホームページや広報紙の充実などによる情報発信の強

化をすすめる。「地域の市長室」の改変やパブリックコメントの実施など広聴の充実を図っていくということでした。

《消防本部》

■「まちかど救急ステーション」について

身近にあるAEDの設置場所を認識してもらい、救命

勝樹成輔三夫修資
秀廣陽茂敏唯
本澤崎原澤尾元
初原入岡竹築長中
委員長 員員員員
委員 委員委員委員

率と社会復帰率の向上を目指して、重篤な傷病者が発生した場合に、AEDを設置している近くの事業所にAEDをいち早く取りに行き、救急車が到着するまでの間に応急処置ができるように、約147施設から同意をいただいて今年度から運用を開始しているという説明でした。

《危機管理課》

■自主防災組織の設置の促進について

平成27年度末で自主防災組織率の目標50%にするために、120自治会の立ち上げを目標に、取り組んでいく。委託先のNPO、振興局と一緒に、出前講座などを開催し、住民の危機感に結びつけながら、組織化を図っていききたいという説明がありました。

《総務部》

■人事評価制度の導入について

平成28年4月から施行予定である地方公務員法等の改正に伴い、任用の定義を明確化し、標準職務遂行能力を定めるなど規定の整備を行ったうえで人事評価を処遇に反映させていくということでした。

■追手門学院大学との連携協力に関する協定について

平成27年4月4日に蒜山休暇村で、人的交流の促進などの包括的な協定を締結した。宿泊オリエンテーションに参加していた追手門学院大学の新生入生約190名の前での協定締結式典となったとのことでした。

■「公共施設適正配置方針」の策定について

昨年度策定した「公共施設白書」の内容を踏まえ、公共施設適正配置方針を策定する。あわせて平成27・28年度で「固定資産台帳」を整備して資産状況を明らかにし、平成28年度に「公共施設等総合管理計画」を策定する予定という説明がありました。



「まち・ひと・しごと創生総合戦略」市民会議の様子

文教厚生常任委員会

委員会開催内容

本委員会では5月18日に委員会を開催し、各担当部局の出席を求め、調査研究を行いましたので報告します。

《健康福祉部》

■臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金について
消費税引き上げに伴う措置として、臨時福祉給付金を支給対象者一人につき6,000円、子育て世帯臨時特例給付金を対象児童一人につき3,000円支給するとの説明を受けました。

■「真庭市幼稚園・保育園整備計画」について

来年度、川東地区に開園予定のこども園の建築工事に着手する。北房地域のこども園については、教育委員会と連携をとり準備を進めていく。勝山こども園については、耐震補強工事及び改修工



天津・川東こども園（仮称）安全祈願祭（6月19日）

事を予定している。久世地域のこども園についても検討をしていくとのことでした。

《生活環境部》

■真庭市公共交通ネットワーク再編検討事業について

「まち・ひと・しごと創生総合戦略先行事業」として「真庭市公共交通ネットワーク再編検討事業」を行う。この事業は、過疎地域の有償運送等コミュニティバスの枝線の効率化の調査を行うなど、経費を抑制しながらいかに利便性を向上させて利用促進を図るかなど検討し、次年度以降に取り組むべき具体的施策の実施に繋げていく事業であるとの説明を受けました。

■高齢者の運転免許証自主返納支援事業について

運転免許証を自主返納した65歳以上で「おかやま愛カード」を所有する方に、まにわくんの乗車券を給付することで車に代わる移動手段の確保をするもの。運転免許証の自主返納を促し、高齢者の交通事故防止に繋げていきたいとの説明を受けました。

二八正尚昇助則文
源壯篤 莊一一
南本平形尾井島田
古岩氏緒妹福福森
委員長 委員長 委員長
委員 委員 委員
副委員長 副委員長 副委員長

■火葬場建設事業及び墓地公園整備事業の進捗状況について

真庭火葬場については第1期工事を平成26年度に完了しており、2期工事を発注予定である。北部火葬場については、12月頃の完成予定である。

鳩ヶ平墓地公園については、1期工事で山側法面が地滑りの可能性があり、対策を追加発注する計画である。納骨堂の規模を予定より縮小し、財源を確保することとした。

■家庭ごみ資源化促進事業について

家庭ごみを分別することにより、生ごみ等の資源化を促進し、焼却ごみを減量することにより焼却施設の効率化を推進する。液肥の利用推進及び実証実験として、先進

地の液肥60トンを購入し、水稻や野菜栽培に施肥し、農家や営農指導者にも利用促進していくとのことでした。

《教育委員会》

■学力向上関係事業等について

確かな学力と豊かな心を備え、夢をもって自ら学ぶ子どもの育成を目標に、学力を備える、道徳性を育てる、夢をはぐくむということを基本に事業に取り組んでいる。ICT環境推進事業では、無線LAN、タブレット、デジタル教科書を今年度から3年計画で導入していく。今年度は、蒜山中学校区と湯原中学校区を計画している。

■真庭市小・中学校給食施設整備計画について

今年度から、蒜山中学校を給食提供校として、中和小学校と川上小学校を給食受配校として実施している。来年度は、久世中学校を給食提供校として米来小学校、幼稚園を、遷喬小学校を給食提供校として草加部小学校、幼稚園を、それぞれ給食受配校（園）として実施する予定であるとの説明を受けました。

産業建設常任委員会

委員会開催内容

本委員会では、5月14日に委員会を開催し、各担当部局の出席を求め、調査研究を行いましたので報告します。

《産業観光部》

■プレミアム商品券事業について

産業政策課から、真庭市制10周年記念プレミアム商品券事業について報告がありました。

市内の消費喚起による商業の振興と地域活性化を目的として、真庭商工会が発行するプレミアム商品券のプレミアム部分等に国の交付金を活用して補助金を交付するもので、発行予定金額は5億4千万円（うちプレミアム額は9千万円、プレミアム率20%）、使用期間は平成27年8月～10月の3カ月間との説明がありました。

この件について、委員から、商品券の募集締め切りが5月15日とのこと、間に迫っているが、現状どういう状況で、市内で利用できる店舗はどの程度あるのかという質問がありました。

執行部からは、5月号の広報紙といつしよに申込チラシを配布したが、締め切りまでに期間が短く、連休が間に入ったこともあり、周知ができておらず、当初はほとんど申込ハガキが来っていない状況があった。市としては告知放送やMITを活用したり、商工会も独自ルートで周知活動を行ってきた。取扱店舗数は500程度でほぼ市内全域を網羅している。今後の状況により、真庭商工会とも協議しながら、追加募集等にていねいに対応していきたいとの説明がありました。

《建設部》

■北房建設残土センター（仮称）建設計画について

建設課からは、市南部公共工事の効率化のため、上水田地内に建設残土センターを計画している。残土処分量は60万m³。面積約8ha、市有林と民有林で既に昨年からの地元協議に入っているとの報告でありました。

この件について、委員からは、いろいろな問題点があると思うが、全てクリアできて前に進んでいるかとの質問があり、執行部からは、県等に確認し、各団体と協議をしていきたいと考えてるとの説明でした。



修繕予定の落合橋

■落合橋の修繕について

建設課から、市道橋の点検と修繕事業についての説明がありました。笹子トンネル事故を機に道路重要構造物について5年に1回の点

委員長	文之治
委員	治夫
委員長	健夫
委員	辰秀
委員長	尾田
委員	本部
委員長	池部
委員	河草
委員長	中尾
委員	田宮

検が義務付けられた。真庭市の市道橋は合計1,055橋あり、今後毎年200橋あまりの点検業務が必要。点検費用は毎年5千万円必要とのこと。

また、老朽化して緊急対応が必要となった落合橋の修繕に取り組む予定との説明がありました。落合橋は昭和14年架設、昭和58年に塗装補修工事を実施している。事業費は今年度から平成30年度までで計2億6,500万円で、橋梁塗装やひび割れ補修工事等を実施する予定です。

《蒜山振興局》

■中和地域振興事業について

蒜山振興局からは、新地域再生マネージャー事業を活用して、小さな里山資本主義として中和地域の振興を図っていくとの説明がありました。具体的には、地域振興会社の設立や、薪ビジネスの事業化、食品加工組織と連携した商品開発、民泊受入れのモニターツアー開催や情報発信のためのホームページ開設等で、事業費は1千万円とのことでした。



真庭市議会 6月定例会

一

般

質

問

一般質問の記事は質問した議員本人の原稿に基づいています

岡崎陽輔 議員

発達障がい児(者)の一貫した系統的支援の充実を

問



久世地区に振興局の使命を！

問

振興局は、地域の資源を生かし地域振興を図る。この事は、競争意識の中で成果が上がると思われる。しかし、久世地区には振興局が無い。本庁付近こそ活性化が必要なのに、遅れるのではと案じる。久世地区に振興局の使命が果たせる場が必要と思うが。

答 太田市長

総務部長が総括的に調整を行う。具体的諸問題は、総合政策部長が担う。さらに、地域振興主管を置いている。

真庭の山に外国資本は入っていないか！

問

調べてみると7道県で60件、786ha、内北海道で721haが買収されている。買主は中国が主で、水源を求めてものが多い。真庭市の山も買収されているのではと案じている。買収されていくと発電燃料に影響が出るし、水利権は非常に難しい。今、山は山主にとって全くの負の資産。甘い話が来ればそれになびくのではなからうか。そこで質問。真庭で山林は買収されていないか。



真庭の山林（富原地区）

国の規制はないようだが真庭で対策はできないか。

答 太田市長

森林法で相続を含め所有権が変われば、届出を義務づ

真庭の人権について

問

人権は社会の基本。民主主義と深い関係がある。今、民主主義は生活の常識。守るものは守り、秩序を保つこそ、人の平等な幸せが来ると思う。今後真庭の人権をどう守っていくのか市長に伺う。

答 太田市長

自由も確保し、幸福を求めて生きる権利、尊重し合い、認め合い、支え合いながら共に生きる共生社会をつくる。

真庭市は就労までの切れ目のない系統的支援体制があるのか。最前線の保健師、保育士など専門職の高いレベルで理解できるマンパワーが必要である。研修制度の充実と専門職の充당을すべきだ。

答 太田市長

ライフステージ移行期の円滑な情報連携が課題である。各担当者が密接に、支援を必要とする子ども、家族に関する情報について連携を強化し、効率化と課題を明確化する仕組みをつくりたい。岡山県が実施するトータルライフ支援プロジェクト事業を通じて向上につなげる。



旧至道高校跡地

障がい者雇用の充実に

問

平成28年から障害者権利条約の批准に向けた対応を中心に障害者雇用促進法は改正され、法定雇用率も上昇が

予想される。障害者基本法の理念に基づく今後の雇用方針を伺いたい。

答

太田市長

法律に即応するよう適切に対応し、障害者雇用を今まで以上に進めたい。

学校統廃合は住民の合意形成を大前提で進めるべき

問

文部科学省は、1月に59年ぶりに公立小中学校統合に関する基準を見直した。全国的に統廃合が加速する危険性があるが、一方で学校の持つ多様な機能に留意し、保護者の声を重視し、地域住民の十分な理解と協力を得ると明記されている。住民無視の統廃合は許されない。

北房地区をはじめ、今後学校統廃合の住民の合意形成は具体的にどう確保するのか。また、合意形成の協議機関としての受け皿を考えないのか。

答

沼教育長

保護者、地域の方々と十分な理解と協力を得るため、教育環境の改善を中心に丁寧な説明と協議を行い合意形成に努めたい。住民の方が受け皿の組織としてつくって欲しいという形になれば、当然否定するものではない。

原 秀樹 議員

人権教育・推進・啓発の窓口の一元化と機構改革は！

問

人権教育・啓発は平成12年12月6日に法律が制定された。市でも平成17年4月に地



くらし安全課の相談窓口

区人権教育推進委員会規約が、平成23年8月には、真庭市地区人権教育推進委員会設置規程が制定され、平成24年3月には真庭市人権教育・啓発指針が策定され市役所内でも人権推進体制組織が確立されている。しかし、人権教育は生涯学習課、学校人権教育は学校教育課、人権推進・啓発はくらし安全課と、担当が教育委員会部局と市長部局とで分かれているのが現状である。人権問題は、学校現場だけでなく、家庭や地域・職場等人間が生活して行く様々な環境の中で起こりうる。人権問題は、市が推進する「定住・交流」「子育て」「包括支援事業」「産業振興」等々の施策にも大きく関連する。また、子どもの頃からの人権教育と地域社会や職場との結びつき等重要である。受付・相談・解決までの窓口の一元化や機構の見直しが必

要と考える。人権関係の行政機構図を明確にする事も重要ではないか。市長、教育長の見解を伺う。

答 太田市長

現状は、担当分野が分かれているが、総括部署は、市長部局のくらし安全課と明確にしている。くらし安全課では、法務局と人権擁護委員で組織する協議会と連携した事業を行っている。相談等は、くらし安全課の総合相談窓口でお願いしたい。人権月間の時に市広報紙「まにわ」等で人権関係の行政機構図を市民に明確にする。今年の人権講演会は戦争問題と絡ませ長崎市長の講演も考えている。

答 沼教育長

地区人権教育推進委員会委員の方々の訪問や懇談会、各種イベントや文化祭に人権コーナーを設置し意識の高揚を又小中学校・幼稚園では保護者を対象に人権教育の研修会を開催し、全ての人々が平和で明るく住みよい町「共生まにわ」の実現に向けて人権教育を推進する。

妹尾智之 議員

公用車の管理について

問

公用車の事故が起きたときに事故の状況と事故原因がわかりやすく、今後の原因と対策が議論でき交通事故の



公用車に設置されているドライブレコーダー

減少に役立つためにドライブレコーダーを搭載してはと思う。既にドライブレコーダーを搭載している公用車はどれくらいあり、今後公用車へのドライブレコーダーを導入する計画はあるか。

答 太田市長

公用車にドライブレコーダーを搭載している車の実態は、26年度までに共用の普通車40台中16台に導入している。今後、共用の普通車については更新のたびに新たにドライブレコーダーを取りつけていく。公共交通のまにわくんは27台のうち9台に導入している。まにわくんにつきましては車の安全管理をより徹底するということで、残りの台数を年度内に全て導入し、進めていく。

移住、定住促進について

問

30代から40代が地方へ引越す子育て移住がふえている。シニアが主流だった地方回帰がさま変わり。地方都市への転職や祖父母の地元に戻る孫ターンの動きが出てきた。衆議院総務委員長は、「これから地方への移住を推進する上で、女性の希望をかなえることが重要だ。」と言っていた。子育て支援や女性の雇用問題など、真庭市では女性の希望をかなえられる女性の輝くまちづくりなどの施策の計画はあるのか伺う。

答 太田市長

まち・ひと・しごと創生本部の中の子育て・教育部会において、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるというテーマに関係各課が連携し新たな施策や仕組みづくりを検討している。全力を挙げて人口増加の取り組みを進めていき、女性の輝く真庭をつくっていきたい。

岩本壯八 議員

公営住宅のあり方について

問

生活者にとって住まいは生活の基礎。住まいなくして生活の構築はない。市内では公営住宅が50団地、214棟、673戸を供給。その内耐用年数超過が4割程度。公営住宅が果たす公共福祉の役割を考慮し早急な対応が必要。市営住宅整備検討委員会から本年3月に答申を受けた。答申を受けて住宅政策をどのように進めるのか①公営住宅の果たす役割・必要性をどう捉えるか②定住・移住者に対する住宅政策は③セーフティネット機能としての低所得者、障がい者、高齢者、若者世帯への住宅供給は。

答 太田市長

①公営住宅法に基づき低額所得者・住宅困窮世帯に低廉な家賃で適切な住宅を賃貸することで健康で文化的生活を営むことができる



市営原方新住宅（勝山）

セーフティーネットとしての重要な役割を果たす。住環境の現状や課題の調査研究も行い、市営住宅が果たす公共福祉を考慮して適正な住宅供給に努めたい。②移住者中古住宅取得補助金、市有施設のお試し住宅を用意。県宅建取引業協会の情報サイト「住まいる岡山」に情報を登録。空き農家、空き別荘等の情報も含めた市独自の空き

家情報バンクを設置予定③適正戸数・規模の市営住宅建設を進めたい。

生活困窮者に対する支援について

問

生活保護に至る前に早期に自立できるよう生活困窮者自立支援法が4月から始まり、市にも生活自立支援センター

が設置された。①窓口対応だけでなく困窮者の情報把握など広範囲に積極的に踏み込む必要がある。②就労訓練、家計相談や指導、困窮家庭の子供に対する学習支援など多面的支援が必要。

答 太田市長

①寄り添い型支援をすべく主任相談支援員、相談支援員、就労支援員各一人を兼務配置②民生委員、社会福祉協議会、地域包括支援センターと連携して情報収集する。

草地秀育 議員

点字ブロックとグリーンベルトについて

問

点字ブロックは輝度比（コントラスト）の大きなものが識別しやすい。歩道と同系色だと高齢者など足腰の弱い人がつまずく危険があるとのことだ。真庭市においても積極的に点字ブロックを敷設していただきたい。まず手始めに本庁前の点字ブロックを黄色に塗り替えてもらいたい。小中学校の通学路の危険個所の回避のため、歩行者の安全を図るため、もっと積極的にグリーンベルトを設置すべきではないか。

答 太田市長

市としても本庁舎、振興局、公共施設、バス停等を結ぶ市道への設置について関係福祉団体の意見を聞きながら進めるとともに、県にも要望していく。今のところ点字ブロックの色に関する

意見は伺っていない。引き続き関心をもっていきたい。グリーンベルトの設置については、安全推進協議会による方針に基づいて補助事業等

を活用して、より積極的に取り組んでいる。今後とも点検結果をもとに、関係機関との連携を図りながら安全確保を進めていく。



本庁舎前の点字ブロック

高校生模擬議会、女性模擬議会開催について

問

現在真庭市議会議員24名の平均年齢は63.7歳で全員男性である。子育て世代また女性などいろいろな階層から選出されるべきである。今国会で、選挙で投票できる年齢を現在の20歳から18歳に引き下げる公職選挙法改正案が成立する見通しである。こうした方々に、議会とはどんなものか体験して、関心をもってもらうことは大きな意義があると思う。ぜひ高校生議会、女性議会を考えていただきたい。

答

太田市長

市民の声を直接伺って市政への関心を高める方策のひとつ。

本会議同様の形式で行うというイベントならば執行部が単に実行するのではなくて、議長中心にご検討いただければいいのではないか。

初本 勝 議員

出没する野猿・イノシシ・野鳥の対策を伺う

問



市内周辺部は高齢化が一段と進む中、野猿・イノシシが我が物顔で出没し、稲・野菜栽培が大変難しくなっており、作っても仕方ないとあきらめてしまう人が多くなっている。山間部といえない地域でも増え、同時にシラサギ・アオサギ・カワウがヒノキの枝に巣を作り大声で朝から騒ぐ状況になっている。また、長い間ヒノキの頭を押さえると枯れるので、今後どのように対策するか伺う。

答

太田市長

真庭市ではイノシシ・鹿・猿等の有害鳥獣の捕獲防護柵設置等に合計3千万円の

補助金を出している。年々交付金額が増加しているものの、被害は深刻で効果が余り

出していない。より効果的な対策は、県が広域に市町村と関係団体と一緒に頑張って積極



イノシシの捕獲オリ

的になることが不可欠だと思う。県全体の鳥獣被害額は、ここ数年間は4億円前後で推移している。ただ、対策が不十分だということは、実態を十分把握していないと推測できる。岡山県の取り組みは、鹿とイノシシについて今後10年間で県内生息数を半減させる目標を立てたが、そのために何が必要なのかは、現時点で十分踏み込めていないと思う。猿については、群れの数と生息数を把握して、特に加害レベルの高いものから個体数を調整していくことは有効で、これは対策をとっている県の教訓であるが、今年度から岡山県は生息数の調査を始める。防護柵の整備で電気柵・トタン・金網、ネットの対策に対する補助制度を県も持っている。

私の行政経験からいって、3つしか対策はない。一つは個体数を減らすこと。二つは集落に近づけないこと。そのためには、草刈りして集落との距離をおく。何よりも柵を延々と張ること。三つ目は、山に実のなる木を植えてあまり集落に近づけないことである。

柿本健治 議員

地方版「総合戦略」策定について

問

まち・ひと・しごと創生法に基づき、地方自治体において地方版まち・ひと・しごと総合戦略策定を努力義務として定めており、9月頃の策定を目指して「市民会議」を開催し意見集約に努めているが、振興局単位での意見集



谷崎潤一郎が疎開していた勝山

約を行う中で総合戦略策定を目指すべきではないか。勝山に谷崎潤一郎が疎開しており、そこを永井荷風が訪ね8月14日に「すき焼き」を食べた事が記されており、大きな観光資源と考えられる。

答 太田市長

総合戦略は、五原則に沿った地方がやる気・自立・地域独自・持続性に繋がる事業で行政と市民が協働して推進する事が重要。交流定住分野では振興局を中心に地域の宝探しや宝磨き、地域間の議論を進め、地域が主体で市民が主役の取り組みをする。8月14日に牛鍋を食べたという事で、文豪鍋を作っているかどうかと言っている。

公共施設利用料金見直しの影響について

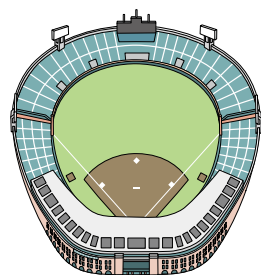
問

4月から各公共施設利用料の見直しが実施されており、今年度の利用料は800万円程度の増収が見込

まれているが、条例改正から実施までの期間が短く、周知を図るのに若干混乱があったのではないかと。見直し後利用状況の推移はどの様になっているか。利用時間の単位が変更された事に伴う問題。減免対象範囲の標準化・適正化による従来の減免対象団体等への対応状況について伺う。

答 太田市長

見直し後2カ月しか経過してなく、判断できる材料はない。今後動向を見たい。施行にあたって十分ご理解頂けなかった部分、広範囲に影響の出る場合の反省材料と思う。時間単位変更は、利用者にとって有利な面も出ている。減免措置の対象団体等へは、公益性の認められる団体に対しては補助金措置をしているがこれからも丁寧に相談に乗る。



新規事業にクラウドファンディングはどうか

問

クラウドファンディングは、事業計画に賛同した人が少額の出資をし、地域外の人にも呼びかける新しい形の市民参加型の事業展開といつてよい。保存すべき地域の文化財の保護や修理、地域再生事業に関わる新規事業などの事業資金集めにクラウドファンディングを考えてみてはどうか。また、今後計画するときには事業を明確にして実施してはどうか。

答 太田市長

ふるさと納税とか寄附型のクラウドファンディングをしてくださった方もお金を出すだけでなく事業を支援するという仕組みもできたらいいと思う。今後ともクラウドファンディング、あるいはそれにヒントを得てできる方法も研究を続けて、それに適用できる

古南源二 議員

事業を掘り起こし、単に資金集めだけでなく、その事業を効果的にしていく意味で、地域おこしのための資金調達の方法を検討し、実践していきたいと考えている。

答

吉永総合政策部長

今ふるさと納税の目的とい



旧遷喬尋常小学校

うのは非常に大まかに4つに分けている。今回行う場合、旧遷喬尋常小学校での利活用プロジェクトに関しては、明確に条例を改正する必要もあろうかと思うが、目的を明確にして皆さんにお出しして、真庭市の新しいネットワークを作るという考え方で進めていく。

中尾哲雄

議員

バイオマス発電について

問

官民協力で大規模発電所が4月運転開始となった。①年間約15万tの原料を確保する必要がある。山元に収入をもたらす長期的な政策を講じるべきで、何か秘策があるか。約半年は原料を調達済と聞くが、その後の見通しは。②市有林の内、雑木林の材積量や搬出経費等のサンプリング調査を実施していると聞く。森林簿に登載のある量の約何倍程度か。③電力会社の電線路下管理のため伐採収集、処分している草木は莫大な量であり、未利用森林資源の活用は地産地消型が望ましい。経費節減の上から、これを活用すべきと考える。今後声かけの必要があると思う。④収益は電力会社、伐採搬出業者、加工事業所の3者が利益を伴うことが重要である。発電会社の利益を追求しすぎるとバランスが崩れ適切



真庭バイオマス発電所

な収入が伴わねば持続可能エネルギーとして木が搬出されなくなる。注意深く指導すべきと考えるが尋ねる。

答

太田市長

①今木材価格が非常に落ちていて。木を本来の目的で使って収入増にしていこうとがまず一番だ。木材需要を

増やすには価格を上げていくことと、生産コストを落としていく、この2つで利益を出していく。未利用材で検たあたり5千円、杉4千500円で引き取り、たあたり約1万円で発電所に売る。お互いに収入になる。半年間で2万t以上が集積基地等へ確保されている。3年目で考えていた本格稼働が既にでき始めている。順調な発電ができている。4月末時点での現状では、年間計画量の調達は十分である。②針葉樹は1.88倍から5.08倍。広葉樹は1.17倍から4.08倍、森林簿に比べ相当の量がある。③真庭市が発注する公共工事で支障木がでると、特記仕様書で真庭バイオマス集積基地に持ち込む事としている。④現時点では安定的に燃料の確保がなされており、危惧されることは今現在はい起り得ない。

議会の動き

- 4/4 (土) 高梁市新庁舎落成記念式典 真庭あぐりガーデンオープンセレモニー
 6 (月) 議会運営委員会 川上・美甘・湯原こども園開園式
 7 (火) 議会広報編集特別委員会 中国四国酪農大学校入学式
 8 (水) 会派代表者会議
 10 (金) 真庭バイオマス発電所竣工式
 15 (水) 全員協議会 議会運営委員会 岡山県市長会
 16 (木) 落合中学校落成式
 19 (日) 蒜山千本桜植樹式
 21 (火) 参画まにわ総会
 23 (木) 臨時会
 24 (金) 真庭市防衛協会総会
 28 (水) 真庭圏域消防操法訓練大会

全国水源の里シンポジウムを真庭で開催！

平成27年10月20日(火)・21日(水)の2日間、勝山文化センターをメイン会場に「清流が紡(つむ)ぐ人と人～農山村と都市の共生を目指して～」と題して開催されます。ぜひご参加ください。

- 5/7 (木) 岡山県消防操法訓練大会壮行式
 9 (土) 美咲町合併10周年記念式典
 11 (月) 津黒高原荘薪ボイラー点火式 春の交通安全県民運動広報パレード出発式
 12 (火) 議会運営委員会 議会広報編集特別委員会
 13 (水) 真庭市身体障害者福祉協会総会
 14 (木) 岡山県市町村総合事務組合議員選挙
 17 (日) 岡山県消防操法訓練大会
 18 (月) 中国横断道建設促進岡山県期成会・岡山道利用促進協議会
 19 (火) 新規就職者激励会
 21 (木) 委員会活動報告会 議会運営委員会
 22 (金) 岡山県市議会議長会総会
 25 (月) 国道313号整備促進期成会総会 真庭市老人クラブ連合会総会
 26 (火) 議会運営委員会
 27 (水) 中国市議会議長会総会
 28 (木) 真庭市シルバー人材センター設立10周年記念式典
 29 (金) 本会議(開会) 真庭地区木材組合通常総会

- 6/1 (月) 議会運営委員会 湯原ダム管理連絡会議
 2 (火) 本会議(一般質問)
 3 (水) 本会議(一般質問) 議会広報編集特別委員会
 5 (金) 本会議(質疑・付託)
 9 (火) 総務常任委員会 産業建設常任委員会
 10 (水) 文教厚生常任委員会
 11 (木) 真庭市遺族会連合会役員総会 平成28年度全国高校総体登山大会実行委員会設立総会
 12 (金) 議会運営委員会
 14 (日) 真庭市栄養改善協議会総会 真庭市春季剣道大会 真庭CUP綱引大会
 15 (月) 真庭産業団地立地協定式
 16 (火) 本会議(閉会)
 17 (水) 全国市議会議長会定期総会
 18 (木) 市議会議員共済会代議員会
 19 (金) 天津・川東こども園(仮称)安全祈願祭
 27 (土) 真庭市愛育委員連合会総会
 28 (日) 真庭農業協同組合通常総代会
 29 (月) 真庭防犯連合会・真庭警察署管内暴力追放推進連合会合同総会
 30 (火) 文教厚生常任委員会 山形県鶴岡市議会視察

お知らせ

・8月8日(土)はんざき祭り
湯原温泉地内

・8月13日(木)～19日(水)大宮踊・ひるぜん花火大会
※ひるぜん花火大会は15日(土)20:00～予定
蒜山中福田 福田神社ほか八束・川上地区各地

・8月13日(木)18:30～ 中和ふるさと祭り
蒜山下和 中和小学校グラウンド

・8月14日(金) 久世夏祭り2015リバーサイドフェスティバル
久世地内 久世河川公園

・8月16日(日) 吉の念仏踊
吉 法福寺

・8月9日(日)～23日(日) 勝山アニメーション・ショウケースVOL.1
勝山 勝山文化往来館ひしお

真庭市議会議員 会派の所属状況

真和会（しんわかい）

会派代表者 入澤 廣成
緒形 尚
長尾 修
宮田 精一
結成年月日／平成25年4月24日

みんなの会

会派代表者 原 秀樹
古南 源二
中尾 哲雄
福井 莊助
結成年月日／平成25年4月24日

森真会（しんしんかい）

会派代表者 妹尾 昇
草地 秀育
竹原 茂三
結成年月日／平成25年4月24日

未来（みらい）

会派代表者 森田 一文
柿本 健治
中元 唯資
結成年月日／平成25年4月24日

緑真会（りょくしんかい）

会派代表者 河部 辰夫
築澤 敏夫
初本 勝
結成年月日／平成25年4月24日

公明党真庭市議団

会派代表者 岩本 壮八
妹尾 智之
結成年月日／平成25年4月24日

自律（じりつ）

会派代表者 池田 文治
結成年月日／平成25年4月24日

日本共産党

会派代表者 岡崎 陽輔
結成年月日／平成25年4月24日

青雲（せいうん）

会派代表者 小田 康文
結成年月日／平成27年3月30日

会派を組織していない議員

氏平 篤正 福島 一則

※会派は、政策集団であり、派閥ではありません。
※会派の並びは所属人数結成五十音順です。

9月定例会の請願・陳情は 8月31日まで

3月定例会 11月末日

9月定例会 8月末日

6月定例会 5月末日

12月定例会 11月末日

※ただし、土日祝祭日等の閉庁日は除きます。

※様式等についての問い合わせは議会事務局までお願いします。

なお、請願・陳情1件につき、要望内容は1件でお願いします。
複数の要望事項がある場合は、それぞれについて陳情・請願を提出
してくださいますようにお願いします。

皆さんの声 お待ちしています！



広報紙の内容について、
また議会や行政に関するご
意見・要望等ありましたら、
住所氏名を明記し議会事務
局までお寄せください。郵
便・FAX・電子メール等何
でも結構です。

宛先

真庭市議会事務局
〒719-1329
岡山県真庭市久世2927-2
TEL (086) 42-11272 (直通)
FAX (086) 42-11420
Eメール gikai@city.maniwa.jp

議会広報編集

特別委員会

委員長	原 秀樹
委員	緒形 尚
委員長	池田 文治
委員	柿本 健治
委員	妹尾 昇
委員	初本 勝

(五十音順)

